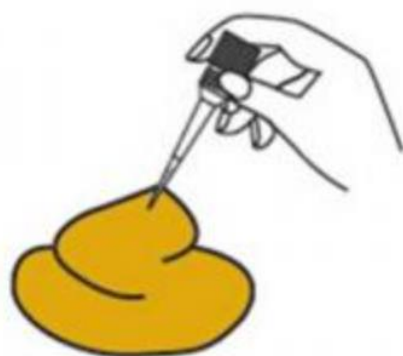


# 便潜血陽性例における大腸がん 以外の病気

大腸がん検診を受けた 13 万人を超える男女を分析した結果、便潜血反応が陽性だった人では、循環器疾患や呼吸器疾患、アルツハイマー病など多岐にわたる疾患による死亡リスクが高いことが判明、詳細が「Gut」オンライン版に掲載されました。



解析の結果、便潜血反応が陽性だった人では、陰性だった人と比べて大腸がんによる死亡リスクが7.79倍であったほか、大腸がん以外の原因で死亡するリスクも1.58倍であることが分かりました。



便潜血反応が陽性だった人では循環器疾患や呼吸器疾患、大腸がん以外の消化器疾患のほか、アルツハイマー病や精神神経疾患、血液疾患、内分泌系の疾患、大腸がん以外のがんによる死亡リスクが上昇していることも明らかになりました。